

論文番号 107

担当

国税庁 醸造研究所

題名 (原題/訳)

Cancer chemopreventive activity of resveratrol, a natural product derived from grapes.

ブドウ由来の天然産物であるレスベラトロールの癌化学予防活性

執筆者

Jang M, Cai L, Udeani GO, Slowing KV, Thomas CF, Beecher CW, Fong HH, Farnsworth NR, Kinghorn AD, Mehta RG, Moon RC, Pezzuto JM.

掲載誌 (番号又は発行年月日)

Science. 275 (5297) 218-220, 1997

キーワード

レスベラトロール、癌化学予防活性、抗癌

要旨

ブドウおよび他の食物製品で発見されたフィトールアレキシンであるレスベラトロールが精製され、発癌の3つの主要ステージを表しているアッセイで癌化学予防活性を示した。発癌の3つの主要ステージを表しているアッセイで癌化学予防活性を示した。レスベラトロールは抗酸化および抗突然変異原として働くことが発見され、また第II相薬物代謝酵素を誘導した (抗開始活性)。レスベラトロールは抗炎症効果を仲介し、シクロオキシゲナーゼおよびヒドロペルオキシダーゼ機能を阻害する (抗促進活性)。そしてまた培養中の発癌物質で処理したマウス乳房腺での新生物発生前領域の発達を阻害 (抗進行活性) し、マウス皮膚癌モデルでの癌化を阻害した。これらのデータは、ヒト食物の通常の組成物であるレスベラトロールがヒトにおける潜在的な癌化予防剤として有効である可能性を示唆している。